

まちのわだい

コロナワクチン接種センターに東原摩舎中央校美術部が壁画を描く

5/21 [Fri]
~22 [Sat]

5月21日から2日間にわたり、東原摩舎中央校美術部の生徒14人が、多久市コロナワクチン接種センター（北多久町）の渡り廊下に壁画を描きました。

壁画には「コロナのない平和な未来へ」と願いを込めて木の枝が伸びていく様子や色鮮やかな花などが描かれています。

美術部部長の光野杏奈さん（9年）は「コロナのせいで暗いニュースが多いので、壁画を見てみんなが少しでも明るい気持ちになってくれたら嬉しい」と笑顔で話されました。



▲東原摩舎中央校の美術部員のみなさんによって、コロナワクチン接種センターに色鮮やかな壁画が描かれました



YouTube で動画が見れます！

株式会社タクアと災害時の協定を締結



5/26 [Wed]



▲TAQUAでの協定式に臨んだ外間代表取締役（中央）、株式会社長崎環境美化の奥野良功代表取締役（右）と横尾俊彦市長（左）

（株）タクアと多久市は、災害発生時に同社が運営する施設「天山多久温泉TAQUA」（北多久町）を緊急避難所や被災者支援に利用し、市民のみなさんの安心安全を確保するため「災害時における施設利用に関する協定」を結びました。

協定によって（株）タクアは、特別警報級の台風接近などにタクアホールを避難所として開設できるよう無償提供。資機材や備蓄品などの整備や避難者対応は多久市が行います。

協定締結にあたって（株）タクアの^{そとまごういち}外間広一代表取締役は「万が一のために備え、市民のみなさんの不安を減らしたい」と話されました。

青少年育成市民大会と少年の主張発表会を開催！

6/19 [Sat]

多久市青少年育成市民大会と多久市少年の主張発表会（主催：多久市青少年育成市民会議、多久ライオンズクラブ）が中央公民館で開かれました。

青少年育成市民大会では、多年にわたって多久市の青少年育成に貢献された倉地正昭さん（北多久町）、江口光幸さん（北多久町）、浜崎和弘さん（東多久町）、小路美代子さん（多久町）を表彰。その後の少年の主張発表会では、義務教育学校6年生と9年生の計16人が将来の夢や多久市の未来などを堂々と発表し、優秀賞に田島蒼介さん（中央校6年）、若林星汰さん（中央校6年）、野田祐真さん（東部校9年）、中尾円香さん（中央校9年）が選ばれました。



▲16人の児童・生徒が少年の主張をはつらつと発表されました

まちのわだい